

履修モデル（スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科）

こどもスポーツ教育学科では、幼稚園教員免許または小学校教員免許を取得するための、幼児教育コース（履修モデル）と初等教育コース（履修モデル）を設けています。各コースの特徴は以下のとおりです。

- 1) 幼児教育コースは、この幼稚園教育の基本を踏まえ、教職と各種教科に関する知識と教育力を総合的に修得することをねらいとしています。教育課程においては、幼稚園教育の全領域についての指導力、教職、その他関連する知識や実践的指導力を身につけた上で、幼児の健康や運動に関する素養をあわせもった幼稚園教諭の輩出を意図しています。
- 2) 初等教育コースは、この小学校教育の基本を踏まえ、初等教育の諸活動に関する知識と教育力を総合的に修得させることをねらいとしています。教育課程において、小学校教育の全教科などについての指導力、教職、その他関連する知識や実践的指導力を身につけた上で、児童の健康や運動に関する素養をあわせもった小学校教員の輩出を意図しています。

入学後に幼稚園教員免許または小学校教員免許の取得、あるいは両方の免許の取得を各自が判断すれば、それぞれに必要な科目を履修できるように配置されています。

● 学びの領域

学びの領域

幼小連携を見据え、複数免許・資格の取得をサポート

近年、就学前後の子どもたちの発育や学びの連続性をふまえて、幼稚園・小学校両方の教育内容を理解し、長期的な視点で子どもたちの成長を見守ることができる教育者への社会的な期待が高まっています。本学科では、こうした幼小連携教育に尽力できる幼稚園・小学校の教諭、さらに、幼保の一元化に対応できる保育士など、教育者としての将来の可能性を広げる複数の資格・免許を4年間で取得できるカリキュラムと実習プログラムを用意しています。

